

令和4年度 学校評価「自己評価書（前期）」

1 学校の重点目標

- 「主体的・対話的で深い学び」の展開による「確かな学力」の習得
- 自他のよさを認め合う、思いやりの心を基盤とした「豊かな心」の醸成
- 心と体を行ったとして捉えた健康・体力の保持増進による「健やかな体」の育成
- 「チーム学校」で取り組む「職員の資質向上」の推進
- 地域に根ざした「開かれた学校」の創造
- 教育の質を向上させる「教育の情報化」の実現

2 課題と改善策 ※ 評価の目安 4=80%以上 3=60~79% 2=40~59% 1=40%未満

	評価項目	評価	評価結果と改善方策
確かな学力	1 学習指導の充実	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎基本の徹底に向けて、教材研究や授業準備に力を注いだ。</li> <li>・ 特別な支援を必要とする児童については、個別の支援計画・指導計画を基に、学校全体で支援の方向性を確立していく。</li> <li>・ コロナ禍の中での人材活用は難しかった面はあるが、地域の教育資源は積極的に活用していく。</li> </ul>
	2 家庭学習の充実	2.9	
	3 特別支援教育の充実	2.9	
	4 外国語科、外国語活動等の充実	3.1	
	5 国際理解教育の充実	3.0	
	6 郷土教育の充実	2.6	
豊かな心	1 道徳教育の充実	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本音が出し合える道徳科の授業を推進した。今後も指導法を工夫していく。</li> <li>・ 積極的にいじめの早期発見に努め、深刻化を防ぐことができた。</li> <li>・ 6年生を主体に下級生の面倒を見る雰囲気为学校全体に浸透している。</li> </ul>
	2 生徒指導の充実	3.5	
	3 人権教育の充実	3.4	
	4 読書活動の充実	3.6	
	5 特別活動の充実	3.4	
	6 環境教育の充実	3.2	
健やかな体	1 保健指導の充実	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「学校の新しい生活様式」による感染症対策を徹底した。今後も継続していく。</li> <li>・ 学校内外のけがが多かった。児童の危険予知能力、危機回避能力を高めていく。</li> <li>・ 緑化活動は充実しているが、児童の関りが薄い。一人一鉢運動を徹底していく。</li> </ul>
	2 安全指導・防火防災対策の充実	3.7	
	3 給食・食に関する指導の充実	3.7	
	4 体力・気力づくりの推進	3.3	
	5 環境衛生の充実	3.6	
職員の資質向上	1 業務改善の推進	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担任配置がなされず、管理職の時間外勤務が大幅に増加した。役割分担を見直し改善を図っていく。</li> <li>・ 情報漏えい防止に関する研修を繰り返し行った。クラウドストレージ使用についてはルール厳守で臨みたい。</li> <li>・ 保健教育に関する研究の方向性を確立した。授業を通して検証を行っていく。</li> </ul>
	2 不祥事根絶	3.8	
	3 研修の充実	3.3	
開かれた学校	1 子供のよさの発信	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページの更新が計画通りにいかなかった。夏季休業中にリニューアルしたい。</li> <li>・ M B Cラジオ作文への応募は計画通りに推進できた。放送は児童の励みになっている。</li> <li>・ 自主体力づくりは、熱中症予防のために内容を変更した。2学期は本来の計画で進めていく。</li> </ul>
	2 特色ある教育活動の推進	3.4	
教育の情報化	1 推進体制の整備	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年生以上の学年で、自宅待機児童に対するオンライン授業を実施した。</li> <li>・ ロイロノートを日常的に活用するまでには至っていない。2学期は積極的に活用していく。</li> <li>・ グーグルフォームを使って、外部アンケート（保護者）の実施、集計を行った。</li> </ul>
	2 情報教育の推進	2.8	
	3 教科指導におけるICT活用の推進	2.8	
	4 校務の情報化の推進	3.1	

3 次学期（年度）に向けた取組

- 1学期に実施したN R T、全国学力・学習状況調査結果を夏季休業中に分析し、2学期以降の指導法改善に生かしていく。
- 夏季休業中にデジタルドリル（n a v i m a）の活用に関する研修を行い、2学期以降、本格的活用を図っていく。

令和4年度 学校評価「自己評価書（後期）」

1 学校の重点目標

- 「主体的・対話的で深い学び」の展開による「確かな学力」の習得
- 自他のよさを認め合う、思いやりの心を基盤とした「豊かな心」の醸成
- 心と体を行ったとして捉えた健康・体力の保持増進による「健やかな体」の育成
- 「チーム学校」で取り組む「職員の資質向上」の推進
- 地域に根ざした「開かれた学校」の創造
- 教育の質を向上させる「教育の情報化」の実現

2 課題と改善策 ※ 評価の目安 4=80%以上 3=60~79% 2=40~59% 1=40%未満

	評価項目	評価	評価結果と改善方策
確かな学力	1 学習指導の充実	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタルドリル（ナビマ）を使い、基礎・基本の定着を図った。</li> <li>・ 特別支援学級と交流学級の情報交換を定期的に行い、支援の方向性について共通理解を図った。</li> <li>・ 学校支援コーディネーターと連携し、地域の人材活用を積極的に推進していく。</li> </ul>
	2 家庭学習の充実	2.8	
	3 特別支援教育の充実	3.0	
	4 外国語科、外国語活動等の充実	3.3	
	5 国際理解教育の充実	2.8	
	6 郷土教育の充実	2.7	
豊かな心	1 道徳教育の充実	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月のハートチェックを基にいじめの早期発見、早期対応に努めた。引き続き、SST（仲間づくり）の充実を図っていく。</li> <li>・ Mom（見つめる、思いをめぐらす、向き合う）の基本姿勢で児童理解に努める。</li> <li>・ 日常的に環境教育を意識した取組を行っていく。</li> </ul>
	2 生徒指導の充実	3.0	
	3 人権教育の充実	3.2	
	4 読書活動の充実	3.3	
	5 特別活動の充実	3.3	
	6 環境教育の充実	2.7	
健やかな体	1 保健指導の充実	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健教育の充実を図った。児童の変容をしっかりと確認していきたい。</li> <li>・ 栄養教諭による食に関する指導を行った。給食指導の在り方については、今後研修を深めていく。</li> <li>・ 緑化活動や一人一鉢運動については、取組に工夫を加えていく。</li> </ul>
	2 安全指導・防火防災対策の充実	3.4	
	3 給食・食に関する指導の充実	3.3	
	4 体力・気力づくりの推進	3.6	
	5 環境衛生の充実	3.5	
職員の資質向上	1 業務改善の推進	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員間の連携や情報共有を徹底することで、業務改善につなげていく。</li> <li>・ 児童理解に基づいた指導の在り方に関する研修を今後も継続し、体罰を許さない学校づくりを推進していく。</li> </ul>
	2 不祥事根絶	3.5	
	3 研修の充実	3.2	
開かれた学校	1 子供のよさの発信	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MBCラジオ作文への応募及び放送数は昨年より上回っているが、学年により差があるため、学校全体で取り組む体制を整えていく。</li> <li>・ 南方竹太鼓の親子体験は好評だった。今後、児童数減に伴い、伝承学年の見直しを行っていく。</li> </ul>
	2 特色ある教育活動の推進	3.5	
教育の情報化	1 推進体制の整備	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタルドリル（ナビマ）の活用法の研修を行った。今後も研修を継続し、児童の学習の充実につなげていく。</li> <li>・ 3年以上の学年で日常的にタブレットを活用した学習ができた。校務の情報化は、さらに推進していきたい。</li> </ul>
	2 情報教育の推進	2.9	
	3 教科指導におけるICT活用の推進	3.0	
	4 校務の情報化の推進	3.6	

※太字：3ポイント以上UP↑ 太字下線：3ポイント以上Down↓

3 次学期（年度）に向けた取組

- 鹿児島学習定着度調査結果をもとに、全職員で分析と改善策の検討を行い、3学期及び次年度の指導法改善につなげていく。
- 職員主体の服務研修を充実させていくことで、不祥事を自分事としてとらえ、不祥事根絶に対する全職員の意識を高めていきたい。